

単元名 音のスケッチ(1)

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けることができる。
- (2) 和音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもつことができる。
- (3) 鍵盤楽器で音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

02070104_001

【教材名】音の かさなりや リズムを えらんで 合わせよう (音楽づくり)

(P. 24～P. 25)

【準備等】鍵盤ハーモニカ

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 音の重なりやリズムを選び、鍵盤ハーモニカで演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ドのビル」「レのビル」「ミのビル」「ファのビル」に出てくる音や音域を鍵盤ハーモニカで確かめる。 ★音の かさなりや リズムを えらんで 合わせよう ○一つのビルを提示されている四つのリズムで演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ドのビル ・レのビル ・ミのビル ・ファのビル ○パートを選び、提示されたリズムで演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> ・パート① (ドレミファ) ※全て高音 ・パート② (ソラシド) ・パート③ (ミファソラ) ・パート④ (ドレミファ) ○グループで演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> ・パートを決める。 ・リズムの順番を考える。 ・音を重ねて演奏する。 ○発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは全体で取り組ませる。 ・それぞれの和音と、それぞれのリズムを繰り返し演奏させる。 【評】音を合わせることに興味をもち、鍵盤ハーモニカで演奏する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・演奏するリズムパターンを教師が示し、全員のリズムをそろえて取り組ませる。 ・はじめはドのビルだけで演奏させ、次にドのビル→レのビル、ドのビル→レのビル→ミのビル、最後にドのビル→レのビル→ミのビル→ファのビルと徐々に使う音を増やしていくとよい。 【共通事項】音の重なり 音階 【評】音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて演奏する活動を通して「知識」を評価する。 ・4人グループが望ましい。 【共通事項】リズム 【評】音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる活動を通して「技能」を評価する。 【評】和音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音を音楽にする活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・友達の演奏のよかったところや面白かったところを発表させ、全体で共有する。

【 備 考 】